

自然に興味を持つ

作成日2025年2月20日(木)

対象児 4歳児

作成者 進藤早苗

保育のねらい：自然事象に興味を持ち、発見する楽しさを知る。



保育の振り返り

2月、雪が降った日に園庭で雪を集めて遊びました。普段触れられない自然の現象に子ども達も大喜びしていました。「寒い！寒い！」と言いながらも防寒着を着て元気に園庭へ向かい遊ぶ子ども達。「はよ行こう！溶けてしまうよ」と雪解けを気にしている子の姿が見られました。「ここは寒いから、雪が溶けていない」「日陰だからだね」とお日様があたっていない部分の自然事象の変化に気付いている会話も聞かれました。自分の手で触ってみて、「冷たい」「なくなった」と雪や氷が溶けてしまうことを感じ、自分で吐いた息が白くなることを不思議に思い、「けむりみたい」と面白さを感じ、何度も繰り返していました。雪を集めて雪だるまを作ったり、カップに入れて固めたり遊びも広がりました。触ったり、感じたりと、この日はいろいろな発見がありました。日陰、日向についてもクラスでも子ども達と一緒に話してみました。「暖かいところが日向！」「日向ぼっこは暖かいよね」「日陰は寒いよ」「お日様の光だね」「口から白い息でできた？」と気付いたことや知っていることを出し合いました。これからは天気だけではなく、その日の気温にも興味を持っていけるようにしていき、一緒に自然の不思議さを感じていきたいです。「健康な心と体、豊かな感性と表現、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、自然との関わり・生命尊重」